

事務事業評価シート(多可町教育委員会)

1 事務事業の概要 < Plan >				担当課 社会教育課		課長名 内橋 茂		記入者 内橋 茂			
事務事業名				新規・継続		事業開始年度		完了予定年度			
生涯スポーツ振興計画の策定				新規 ○ 継続		19 年度 H19以前		20 年度 未定			
事務事業の体系											
計画 掲載	多可町総合計画			(章) 2 笑顔でつつむ、あったかいまち			(節) 2 学ぼう、活かそう				
	個別計画			(基本計画) 生涯スポーツの充実							
根拠法令・条例・要綱等						事業区分 (該当する区分に「○」)					
生涯スポーツ振興委員会設置要綱						ソフト事業		施設の維持管理			
						義務的事業		内部管理事務			
事務事業の具体的内容						建設・整備事業		○ 計画などの策定			
住民が生涯にわたって活発にスポーツを行うことができるようになるため、長期的な視野に立つスポーツの振興策が必要となってきたことから、今後10年間のスポーツ振興施策を体系的、計画的に推進します。						補助金の支給		有 ○ 無			
						委託		全部委託		一部委託	
						委託なし(全部直営)					

2 事務事業の目的 < Plan >		
対象 (働きかける相手・誰が・もの)	受益者 (誰を・何を)	意図 (どういう状態にしたいのか)
スポーツ団体・学校・各種団体等	幼児・児童期～高齢期	それぞれの年代層の一人ひとりが自発的に主体的に参加することができる環境づくりに努める。

3 事務事業にかかる予算細目 < Plan >												会計名		一般		会計	
細目名 報償費				細目名 委託料				細目名									
予算 コード	款	項	目	節	予算 コード	款	項	目	節	予算 コード	款	項	目	節			
	10	7	1	8		10	7	1	13								

4 事務事業実施にかかるコスト < Do >							
事務事業・人員			単位	19年度 決算	20年度 見込	21 年度 計画	備 考 (全体事業費など)
総 コ ス ト			千円	1,453	1,012	242	
コスト の内訳	直接事業費			1,453	1,012	242	
	所属内間接費						
投入人員	正職員	嘱託員	人/年	0.50	0.50	0.50	
財源 内訳	国・県支出金		千円				
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源			1,453	1,012	242	

5 事務事業の手段 < Plan > と活動指標 < Do >							
事務事業を構成する業務		手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	19年度 実績	20年度 実績	21年度 目標
1	アンケート調査	生涯スポーツ振興委員会が活動のあり方、研究内容の検討及び進行管理について検討する。	委員会の開催数	回	6	12	6
2	委員会の開催						
3	概要版の発行						
4	本編発行						
5							

(ソフト事業)

事務事業名 [生涯スポーツ振興計画の策定]

6 事務事業の実績 < Do >		19年度実績	20年度実績	21年度目標	備考 (成果指標の考え方・計算方法)
成果指標(意図の数値化)	単位				
生涯スポーツ振興委員会	回	6	12	6	委員会の開催

7 事務事業の事後評価 < Check >				(ソフト事業)					
チェック項目				該当項目に「○」				担当の把握している課題	
必要性	需要への 対応性	住民ニーズは	○ 高い	高くない		把握なし			
		緊急性は	○ 高い	高くない					
		利用者・対象者数は	増加	○ 減少		横ばい			
		他市町と比較して対象者に見直しの余地は	ない	○ ある		把握なし			
	町の関与 の必要性	民間の事業(サービス)との競合は	○ ない	ある					
		国や県の事業(サービス)との重複は	○ ない	ある					
妥当性	サービス 水準の 妥当性	事業開始時から社会環境の変化は	○ ない	ある					
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は	○ ない	ある					
		他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は	○ ない	ある		把握なし			
	連携の 可能性	他課で類似の事業は	○ ない	ある					
		他の事業と統合できる可能性は	ない	○ ある		あるが困難			
		民間や他の行政機関と連携できる可能性は	○ ない	ある		あるが困難			
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	ない	○ ある					
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	○ ない	ある					
		サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は	○ ない	ある					
		受益者負担を見直す余地は	ない	○ ある					
		有効性	目標の 達成度	成果指標が明らかで	○ ある	ない			
前年より成果が上がって	いる			いない		横ばい			
持続の 可能性	継続することによる効果は		○ 高い	高くない					
	世代間負担の公平性、社会的平等性が保たれて		○ いる	いない		測定困難			
市場化の 可能性		既に全部委託済	更なる委託化が可能である		委託化の余地があり		委託化は不可能		
		市場化テストの導入について検討する余地がある		市場化テストの導入を検討する余地はない					
改善の可能性			1.改善の余地はない		○	2.改善の余地がややある			
			3.改善の余地が多い			4.抜本的な見直しが必要			

8 改善提案と今後の改善の方向性 < Action >		今後の具体的な取り組み			
職場からの意見					
(施策を取り巻く環境) 多可町における、スポーツの現況、課題を年齢別に 応じスポーツの振興を図るための環境づくりが必要となる。		(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 振興計画を具体的に推進するため、振興委員会を開催し、 特に各年代層別に現状と課題を明確にしなが、又、検討を しながら継続していく。			
(課題の解決についての提案など) 振興計画が策定され、今後は実現に向け事務を進める。					
		自己評価		3. 目標は達成されている。	
今後の方向性	○	1.重点的に継続	2.現状のまま継続	○ 3.内容を見直しなが継続	4.縮小を検討
		5.統合・連携を検討	6.休止・廃止を検討	7.終了・完了	